週間メッセージの流れ (2013.10.20-2013.10.26)

(1) 聖日1部(10月20日)→ 悪い教権、悪い商人、悪い世論から生き残る道(使16:19-32)

▲神様のかたちを持った神の子どもとして、私のたましいの中にみことばを刻印させて、24時祈りの奥義を持って神の国を味わいながら、悪い世の中で勝利する力を得るようにして下さることを感謝します。私のたましいの中に契約が刻印されて、神様が約束された力を私のこととして味わいながら、運命とくびきの枠を脱いでまいりますように。私のたましいの中に神様みことばが刻印されて、私になかった神様の奇跡の働きが起きますように。問題の現場が証拠の現場になって、救いの門が開かれる祝福を体験する祈りの証人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(10月20日)→ 伝道者の深い祈り(使16:33-40)

▲正確に答えられる神様の前で、くださった契約を私のたましいの中に刻印できる信仰をくださったことを感謝します。キリスト、神の国、聖霊の満たしの契約を握って刻印して、私の過去と傷が土台になりますように。この契約が私のたましいに刻印されて、神様がくださる力と祈りの課題を握って、解放される答えとビジョントリップをはじめ、1千万の弟子システムの答えを味わえますように。パウロが味わった深い夜の祈りが私の祈りになり、神様がくださる答えで私の現場を生かしますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(10月20日)→ 地域(区域)教材42課:仕える者の姿勢(ローマ12:1-3)

▲必ず先に知っていなければならない祈り-使徒1:1-14節の内容を持って、使徒2章の答えを受けなければならない。そうすれば、上から神様がくださる祈りの課題、タラント、ビジョンができて、いつも私に付いて回る過去、くびき、枠に勝つようになる。そして、祈りを持って世界を動かすビジョントリップを始めるようになって、このとき、暗やみの勢力に勝てる力ができる。

- ①霊的礼拝をささげなさい-まことの礼拝、まことの献身、まことの答えは霊的なことから出る。
- ②神様のみこころが何か分別して心に入れなさい。
- ③当然思うことを思って信仰をより増しなさい。使徒1:8

(4) 伝道弟子(10月22日)→ 聖霊の人(使徒1:8)

▲神様が本当に用いられた人は「聖霊の人」だった。なぜなら聖霊の力ではなくては、私の限界、世の中、サタンに勝つことができなく、他の方法ではできないから「ただ、使徒1:8」だ。

- ①ただ聖霊(使徒1:8)-三位一体の神様の祝福を握りなさい(神様-みことば、イエス-キリスト、聖霊-助け主)→当然の祝福、必然的祝福、絶対的祝福
- ②このとき私を発見するようになる-使徒1:1(キリストを知る私)、使徒1:3(時代約束の中にいる私)、使徒1:8(世の中に勝つ完全な約束の中にいる私)、使徒2:14-42(みことばの中にいる私)、使徒2:43-47、使徒4:32-37(世界を動かす教会の経済の中にいる私)
- ③ただ聖霊の生活-聖霊内住(確信)、聖霊導き(選択)、聖霊の満たし(全てのものに勝てる私の奥義)
- ④結論-世の中、サタン、私に勝てる答えは一つだ。教会、全体(団体)、現場に最も重要なものが何かを知って、オールインしなさい(ヨハネ6:63)。これが聖霊の人だ。

(5) 70人(10月22日)→ 成就の主役(使徒2:9-11)

▲重職者はみことば成就の主役だ。

- ①重職者が霊的根本(復活の主、世の中の最後、伝道者の最後)契約を持っているとき、天の門が開いて神様が祝福される(使徒1:3)
- ②重職者の祈りは、単純な祈りではなくて霊的決断を下した祈りであった(使徒1:14)。これが世の中を変える重要な決断だった。
- ③重職者の献身は、永遠なことに私の人生をかけた献身だった(使徒2:9-11、使徒2:43-47、使徒4:32-37)。
- ④重職者の伝道は、神様のみことばが全部成就する主役だった(使徒1:14、使徒2:9-11、使徒8:4-8、使徒11:19、ローマ16章、ガイオ、ピレモン、ルカ、アクラ)
- ⑤結論-今から幸せな祝福の道を行くために、霊的サミットの規律を見つけなさい(使徒1:3、使徒1:14、使徒2:1-47、

ローマ16章)

(6) ミッションホーム(10月22日)→ 信徒(道)、レムナント(集中)、いやし(刻印)

▲レムナントに、まずすべきことが、霊的武装を刻印させてやることだ。

- ①レムナントは残った者という意味もあるが、はじまりという意味もある。
- ②レムナントは霊的武装の時期だ。幼いとき、たましいの中にみことば、聖霊が座を占めれば、働きが起きるしかなく、霊的武装の力を発揮するようになる。
- ③今からくる答え(レムナント運動、RUTC)を未来を備えて、ミッションホームで個人的に答えを与えなさい
- ④結論-私の中に刻印されたことが変わる瞬間、いやしが起きて、力が出てくるようになる。

(7) 専門の働き(10月22日)→ いやし-霊的いやし

▲霊的いやしに集中するとき、1コリント2:10、1ヨハネ2:20を念頭に置きなさい。

- ①12の問題を正しく知ってしなければならぬ(創世記3:5、創世記6:4-5、創世記11:1-8、使徒13章、使徒16章、使徒19章、ヨハネ8:44、出20:4-5、マタイ11:28、使徒8:4-8、ルカ16:19-31、マタイ27:25)
- ②来年から必ず準備すること-専門チーム(科学、医学専門家)、集中チーム
- ③神様が願われること(回復)-強大国、弱小国、イスラエルを生かして回復しなさい。
- ④結論-このとおき、聖書の最高の単語、残った者(Remnant)、散らされた者が見える。

(8) 産業宣教(10月26日)→ 伝道者の生活体験(41)-初代教会の産業人の献身(使徒1:1)

▲使徒1:1節の中には神様の計画発見、現実を越える信仰、霊的な奥義と事実に客観的に見た現実が入っている。私たちは神様の計画が何かを常に尋ねて、探さなければならない。

- ①医師ルカの覚悟は、いのち、全財産、全技能を神様にささげる覚悟であった。
- ②神様がくださる答えを受ければ、人の力でとうていできない門が開く(使徒2:9-11、使徒2:41、使徒2:46-47、ローマ16:25-27)
- ③神様が最もお望みの決断を下す祈りが、聖霊の満たしの最も速い道だ。
- ④結論-重職者は今日から三つのために祈りなさい(私たちの教会の最も重要なこと、全体/本部が今しようとする事、現場を正確に見て導かれること)

(9) 伝道学(10月26日)→ 伝道者の生活体験(41)-伝道者の生きる道(使徒1:3)

- ①重職大学院-重職者の3つのオールイン(教会、全体、現場)
- ②地域伝道専門キャンプ-集中伝道の3つのオールイン(全体、備えられた弟子、システム確立)

(10) 核心訓練(10月26日)→ 伝道者の生活体験(41)-伝道者の3つの条件(ヘブル11:1-3)

- ①レムナントは必ず→ 黙想-たましい-神の国を体験しなさい(権威/力) 使徒1:1過去、使徒1:3現在、使徒1:8未来、使徒2:1,3:1)→ このとき、私のことを見つけるようになる。
- ②はじまりを正確にすれば、必ず結論、結果はくるようになっている。
- ③レムナントは三つの目標を立てなさい-初期成功、教会オールイン、世界宣教

(11) 学院福音化(レムナントデイ)(10月26日)→ 1ヨハネ

- ①1課:光である神様ごどのように会えますか(1ヨハネ1:1-4)
- ②2課:神の子どもが必ず分かなければならぬこととは何ですか(1ヨハネ3:8)
- ③3課:偽りの霊を分別しなければなりません(1ヨハネ4:1)
- ④4課:神の子どもは世の中に勝てます(1ヨハネ5:14)

(12) 地域(区域)教材(10月26日)→ 43課:仕える者の資格(使徒6:1-7)